

ツインクルプラン 報告



平成25年10月4日（金）、東京より映像作家・プロデューサーの飯名尚人（いな なおと）さんをお招きし、ダンスと映像に興味関心が生まれるワークショップを開催しました。運動会や学芸会など「動く人」を撮る機会はたくさんあります。そのような時にただの記録撮影ではなく、お子さんなどの活躍をより素敵に撮影できれば、思い出はより豊かなものになります。世界的に活躍する講師よりコツを教わったことで、撮る側も撮られる側も映像表現を身近に感じられ、日常に生かせる撮影スキルを学ぶ機会となりました。

12月6日（金）には、ワークショップ参加者と座談会を開催し、ワークショップで得たスキルを生かして、それぞれが撮影した映像の成果上映会を開催し、感想などを分かち合いました。

映像作家・プロデューサー
飯名尚人さん

当日の様子

10月4日（金）ワークショップ



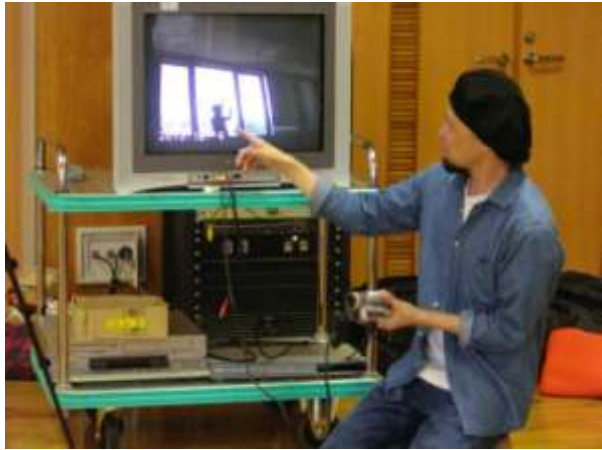
最初に三脚を使っ
ての撮影の
コツを教
えてい
た
だ
き
ま
し
た。





続いてヤミーダンスのみなさんの動きに合わせてながら撮影。これが意外とむずかしい！

参加者が撮った映像をその場で再生。講師の飯名尚人さんから適切なアドバイスもらって再トライ！



12月6日(金) 成果上映会



市民活動支援事業助成金を受け実施したこの事業についての
反省点や成果

準備過程をふりかえって (苦勞した点や広報活動を進めるうえで工夫した点など)

- ◆企画自体には興味を持ってもらえたが、開催日時の平日昼間は、動きにくいという声が多かった。
- ◆当初の対象のひとつであった、パパママ世代へのアプローチが難しかった。
- ◆イベント情報の掲載や取材願いを各メディアへ流し、嬉しい反応が得られた。事前告知だけでなく、実際に当日は2社の新聞記者が取材に来てくれた。
- ◆講師が東京の方で、ちょうど他の仕事で忙しく、しばらく東北へ滞在されており、細やかな打ち合わせが直前になってしまった。ほかでたくさんのワークショップをされており、こちらもお任せしすぎているので、事前の提案はスムーズな運営のために必要だったと思う。
- ◆講師が愛媛へやってくることはダンス経験者の反応が大変よかったので、やはり来ていただけてよかったと感じているし、広報面での注目を集める要素のひとつになった。
- ◆およそ2ヶ月後に成果上映会を設定したが、一般参加者が2名しか集まらなかった。日程が難しいという声もあり、年末に近づけず、ワークショップの熱が冷めないうちに開催すべきだったと思う。

当該事業を実施しての成果

◆実施団体として

参加者数は当初の目標に至らなかったが、満足度が大変高いものを提供できたと思う。

新聞記事に取り上げられたことで、企画自体への認知は広げられた。

ダンスやアートに欠かせない「撮影」であるが、さらに興味をもち、スキルの高い人が地域に増えるキッカケになったのではないかと思う。

ちょうど参加者も男女同数であり、それぞれの視点での学びを持ち帰ってもらえた。

日常的に増えた撮影することへの楽しみ、喜びを生むワークショップになった。

◆参加者にとって

講師ならではの切り口を持った映像ワークショップは貴重な体験であり、コツを学ぶことで「動く人」を撮る難しさより、楽しさが上回ったように感じる。

参加者も男女それぞれおり、同じように撮影の魅力を共有できる内容だった。

アンケートを実施したが、大変満足度は高いようだった。

成果上映会では、具体的に「構図に迷いがなくなった」「映像表現の面白さに気づいた」などの感想が聞け、学びを生かし、実践している行動力が見られた。

